

シリーズ2 市民委員会活動

平成十年度に市民委員会として認定された五団体の活動内容をご紹介します。

第二回の今回は、市民意識調査を取りまとめた「明日の都留を考える会」の概要です。

市民意識調査報告

市民委員会名
（明日の都留を考える会）

今後の都留市のまちづくりの方向を模索するため「都留市民意識調査」を実施し、その内容の分析を行い、報告書に取りまとめました。平成七年度に山梨県が実施した「県民意識調査」との共通の調査項目が含まれており、マクロ的な意識とミクロ的な意識との比較が行われており貴重な資料として活用でき、都留市のまちづくりを進めるうえでも活用できる内容として評価されます。

▼調査の目的

市民の日常生活に対する満足度、当面する主要な課題に対する意向、行政に対する期待・要望、市民生活における行動実態など、時代とともに変化する市民意識や日常生活領域の動向を的確に把握し、都留市のまちづくりの参考資料とする。

▼調査内容

市民生活の満足度三十四項目、定住意識などの市民意識四項目、主要施策十項目、施設整備一項目、都留市の将来像一項目、日常生活行動領域八項目、回答者の属性五項目の計六十三項目で調査を実施しました。

▼調査区域

都留市中谷地区

▼サンプル件数 214人

抽出方法

男女別・年代別を考慮して抽出

▼調査結果の概要

◎満足度の概観

満足度調査の結果について、「領域全般」、「生活全般」、「個別項目」の三つに分けて見てみると、「領域全般」についていざいざも不満層を上回っているが、健康全般で県民意識調査を十%以上下回っていることが注目される。この要因は、施設整備の要望の一位に上げられた市立病院の拡充などによるものと考えられる。

◎項目別の調査結果

項目別に調査内容をみると、

性別	総数	20～29歳	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上
男	106	14	12	21	17	23	19
女	108	16	15	17	28	18	14
計	214	30	27	38	45	41	33

性別・年齢階層別

職業別	農林水産業	商工・サービス	自由業	勤め人等	公務員	学生	主婦パート	主婦専業	その他	計
	0	78	12	48	11	1	7	25	32	214

職業別

居住歴	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答	計
	1	4	4	14	178	13	214

居住歴

回答者の属性

「安全」に関する調査項目全般で不満傾向が強くなる山間地としての地域特性によるものと判断される。「住居環境」では、最近の環境保全意識の現れからか河川などの汚染について不満が高いものとなっている。

また、「教育・文化」で見ると、家庭教育一般での不満が高く、最近における青少年問題などの世情を反映したものとなっている。

◎本市のよいところ

この質問では、自然環境のすばらしさに七一%の回答が寄せられ、次いで公害が少ない、首都圏に近い、すばらしい文化が継承されている、人情味があるなどの順となっている。自然と伝統、人間性とやはり地域の特性による結果となっているものと考察される。

▼まとめ

この調査結果から、その特徴と問題点をまとめてみると、つぎのとおりとなります。

★市民の意識としては、全体的に穏健で健全なものとの判断でき、自然と安らぎの中で、古きよき伝統を継承することを願っている。

★市民生活については、概ね満足しているが、公園や遊び場などの憩いの場の整備を望んでいる。

★東京に近い利点はあるが、産業の活性化、経済活動の発展に向け中央自動車道のフルインター化の取り組みが急がれている。

★市街中心部の空洞化への対応など、再開発の必要性が認識されている。

いる。

★新たな企業の創設、優良企業の誘致など、雇用の場の確保に取り組むなどの施策の必要性が高い。

このことから、行政・市民が一体となって積極的なまちづくりが必要なが調査の結果から浮き彫りとされ、市民参加型の行政運営が提言されている。

この調査の報告書を詳しくご覧になりたい方は、政策形成課政策担当までご連絡ください。

市民委員会で活動する団体を募集しています。
活動を希望する団体は、政策形成課までご連絡ください。